

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年健全育成団体運営事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	05	09	02	05
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実に向う）		主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	戸部 孝彰				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	青少年健全育成団体	意図	健全な青少年を育成する社会環境づくり
事業内容	青少年健全育成団体への補助金交付及び指導・育成。 青少年健全育成団体の活動を通じた健全育成事業の推進・普及。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市青少年相談員連絡協議会は昭和39年に千葉県が青少年相談員制度を設けたことにより、流山市においても青少年相談員を委嘱し、連絡協議会が設置された。流山市子ども会育成連絡協議会は昭和45年、流山市青少年育成会議は昭和53年に設置され、各団体はそれぞれ独自で事業計画を立て活動をしている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	団体の事業数	67	67	71	事業
②	子どもの育成活動を行っている市民の割合	15.20	17	18.60	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・青少年相談員連絡協議会、子ども会育成連絡協議会、青少年育成会議は、各団体がそれぞれ計画に基づいた事業を実施しているが、団体が行う事業によっては内容のマンネリ化がみられる。 ・団体の事業数は増加傾向にあり、子どもの育成活動に関わる市民の割合も増加している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,753,600	5,125,625	4,798,310			
事業費(b)(円)		2,600,200	3,029,525	2,725,530			
うち一般財源		2,600,200	3,029,525	2,725,530			
職員給与費(c)(円)		2,153,400	2,096,100	2,072,780			
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	各種団体の申請に基づく補助金交付をするとともに、今後の事業展開を見据え、各種団体が計画した事業の実施状況をチェックする。	③取り組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の後継者の発掘、育成。 一部事業の硬直化と、手段であるべき事業を目的化しつつある団体についての育成指導。 登録子ども会の減少と事業の見直し。
②今年度(H26)に実施した取り組み	補助金などの支援をもとに、団体それぞれにより様々な青少年育成事業が行われた。	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 各団体間の連携の強化。 子ども会等の登録の推進。